

その他の金属製品製造業における玉掛用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	1~2	事業所工場内のオートボラー作業場所に於いて、穴あけ後の鋼板（25×250×1000≒50kg）をマグネットを用いて移動する際、鋼板をマグネットの接着面にゴミ（カス）の介在、鋼板センターから偏心して取り付けため、鋼板のバランスが崩れて落下し、その際に右足のすねを負傷した。	25	30～49
1	15~16	工場内にて、溶接加工製品の重石用に使用する鉄板（83cm×77cm×厚12cm、約600kg）を使用後、天井吊下式クレーン（2.8t）で吊り上げ保管台に収納しようとした際、鉄板が手前に倒して収納する為、吊り上げて調整しようとしたところ、鉄板を吊っていたワイヤーが老朽化により切れてしまい、鉄板が手前に倒れ保管台の上に乗っていた右足を挟まれ、右足甲を骨折した（安全靴着用）。	63	1~9
1	11~12	工場内にて、トラックからの荷下ろし作業中、ハッカーにて平鋼（3m×15cm）重量135kg×3枚を持ち上げる際に片側のハッカーの爪が引っ掛かり平鋼が両足の上へ落下し負傷した。	36	10~29
1	8~9	当社工場内にて、巾1.5m、長さ4m、板厚（6m/m×4枚=24m/m）、重量1140kgの長方形の板を移動中、吊り具が外れ、アゴ部分に吊り具部品が当たり、口元と口腔内を負傷した。	30	30~49
2	13~14	工場内で天井クレーンにて柱材を吊り上げ中、玉掛ワイヤーの長さの選定ミスにより、吊り荷が振れて架台に当たり、その架台が不安全な位置で操作していた被災者側に倒れて、被災者の足を挟み負傷した。	44	10~29
		フレーム（鋳物）約250kgを作業台の上に載せて面取り作業を行っていた。フレームを立てた状態での作業を完了してフレームを横にするためフレームに吊り具を通		10

2	13~14	して吊り上げた。フレームを30cm吊り上げた状態で作業台の上を右手で拭いていた時、吊り具がフックから外れてフレームが作業台の上にあった右手の上に落下した。原因はフックがしっかり掛かっていなかったため吊り具が外れた。	47	~ 29
2	10~11	第二製缶40tヤード南側にて材料を置く場所を確保する為、天井クレーンにて自社製支柱の片付作業中、仮付け溶接にて床に固定した自社製支柱を玉掛けし、自分で吊り上げ物を押さえながらクレーンで吊り上げたところ、仮付け溶接が破損し、自社製支柱に掛けていたチェーンフックが勢いよく跳ね上がり、被災者の下顎に激突した。	52	~ 99
3	8~9	工場内でクレーンとクランプ1個を使いCT鋼1本を運ぶ作業中、CT鋼が落下し、後方へ倒れ後頭部を打ち負傷した。	47	10 ~ 29
4	10~ 11	作業場にて製品（鉄骨柱、重さ4.8t、長さ約10m、幅約2m）をクレーンで反転させる際、左手でクレーンのボタンを操作しながら、右手で鎖状の吊り具の位置を調整していたところ、右手が柱材と吊り具との間にはさまれた。	27	10 ~ 29
4	14~ 15	工場内にて、加工品の向きを変えるためベルト2本でつり上げていたとき、片方がずれて左足に落下した。	65	10 ~ 29
5	13~ 14	派遣先にてプレス加工の材料鉄板を移動する為ワイヤーとシャックルで鉄板の穴があいている所にセットしている時、反対側で同じ作業をしていた作業員がワイヤーを引っ張った為、シャックルと鉄板の間に右母指を挟んだ。	45	50 ~ 99
5	14~ 15	第2工場T棟において、床面にH方向に置かれていた溶接ビルドエイチ部材（以下BH）を、10tクレーンでワイヤーチェーンに3tハッカーを取り付け、BHのウェブの片側1ヶ所にハッカーで玉掛けを行った。左手でクレーンリモコンを操作し、巻き上げ片側を地切りさせ、床とBHフランジの間に出来た隙間に右手で持ったリングを差し込んだ時、ハッカーが抜けBHフランジとリングに挟まれ被災した。	61	1~ 9
6	14~ 15	当社第三工場にて、FB・山形鋼・C形鋼の加工機械で、C形鋼の切断・穴開け作業中に、C形鋼を移動しようとした時、2本かみ合わせ状態の材料（長さ12m幅）を山形鋼専用ハッカーを使い吊り上げた為に途中で外れ落ち、膝元へぶつかりそのま	57	10 ~

		ま倒れ込み、膝が材料の下敷きになり負傷した。		29
6	16~ 17	自社の橋形クレーン（吊り上げ荷重2.8t）をリモコン操作で鉄骨階段の製品（幅1m、長さ4.5m、重さ300kg）3台を輸送用トラックに積み込み作業中、1台を積み込んだ後に1台ずつ積み込むべきところを、2台を重ねた状態で吊り上げ移動させたため、バランスが崩れてつり具が外れ、落下した製品が頭部に接触し、負傷した。	58	10 ~ 29
6	8~9	弊社第7工場内にて溶接作業中、鉄パレット（鉄製フレーム）をテルハクレーンにて吊り上げ、90度回転させようとした際、フックが正しく引っ掛かっていなかったため、パレットが滑り落ち、足の甲へ落下した。	33	50 ~ 99
6	11~ 12	ヤードにて、H鋼の加工の為に吊り具で吊って移動させようとしていた際に吊り具が外れ、吊っていたH鋼が自分の方に転んで右足に当たり、右足親指・人差指・小指を骨折する怪我を負った。	41	1~ 9
6	13~ 14	工場内でスクラップを移動式（床上）クレーンを用いて降ろす作業中、吊り具の荷に合わせた調整が不十分であった為、スクラップが吊り具から外れて落下し、左手が下敷となった。	67	1~ 9
6	7~8	工機工場（第二工場）内において、バツカン（金属の箱）に小口の鋼材を入れ、そのバツカンを手で吊り上げて移動しようとした際にバランスを崩し、バツカンごと右足に落下し、親指・人差指・中指を複雑骨折した。バツカンを手で吊り上げた時に、手がかかり滑り外れたと考えられる。	23	50 ~ 99
6	8~9	工場において、クレーンを利用してトラックにH型鋼を荷積み作業中、チェーンに左小指を挟み負傷してしまった。	39	10 ~ 29
7	11~12	工場内の作業で鉄板を吊っているときにクランプから鉄板がはずれ足に落ちた。	56	1~ 9
7	9~ 10	塗装ヤードでクレーン作業中に、H鋼を移動する際、吊り材のかかりが不十分なまま吊り上げてしまい、約50cmの高さから落下し、その反動でH鋼が横転し、足の上に落下した。	34	10 ~ 29

9	15~ 16	工場で荷物（ルール）を門型クレーンにて吊り上げる時にクランプが不完全なまま吊り上げてしまい、ルールが倒れた際にルールと門型クレーンの土台に左足がはさまれた。	35	1~ 9
9	15~ 16	レベラー母材、MSN-CC-ZC60 0.8×245.5×C 447kg、1本をクレーンにて母材置場よりコイルカーまで移動作業中、クレーンにて移動途中操作ボタンの南ボタンと西ボタンの操作間違いを行い、西へクレーンが走行しP-2のアンコイラーDS側へ吊り荷が接触し衝撃で吊り荷が落下、落下中に右手甲と接触し負傷した。	25	30 ~ 49
9	13~ 14	アングル材2本を天井クレーンで定盤の上に移動していた、2本目のアングル材の移動が終わり、吊り具のクランプをはずしクレーンを巻き上げたところ、同じフックに掛かっていた別の吊り具が、当該アングルにひっかかり定盤の上から落下し、左足の上に当たった。	55	50 ~ 99
10	15~ 16	会社工場内に於て、グレーンで鉄の品物（約200kg）を吊って溶接作業中、向きを変えようとした際、金具がはずれて誤ってその下じきになり、左腕上腕部及び左眼瞼を切傷、左胸肋骨を骨折する。	44	1~ 9
10	17~ 18	天井用クレーンで鉄板を挟み移動させようとした時に挟み方が不十分だったため滑り落ちてしまい、その時右足の太ももに当たり、その衝撃で右足首を骨折した。	37	10 ~ 29
12	11~12	会社工場内で金型の組み付け作業中、金型部品（アルミダイカスト製、800×1,000mm、約100kg）をマグネットを付け固定式クレーンで吊り上げようとした際に、マグネットの装着が十分でなかったため金型部品が落下し、被災者の右足の上にぶつかり負傷した。	24	10 ~ 29
12	11~12	工場内1階作業場にて、床に鉄板を敷くためクレーン操作中、60度位に傾けたところ、金具が外れた。その際、右足大腿骨の付根部分の骨折、右足踵・踝の複雑骨折、右足脛の裂傷を負った。	53	10 ~ 29
12	15~16	使用済みロープの試験試料準備中、軍手でロープや素線を触っているときに、錆びた線で右手薬指を負傷した。かすかな痛みがあったが、かすり傷だと思い放置していたところ、化膿したため病院へ行った。	41	100 ~ 299

12	9~10	工場内トラック荷役場で、トラックからフォークリフトでパイプ艀装品を降ろす作業をしていた際、パイプ数本を固縛したものを、ワイヤーロープを使ってフォークリフトで降ろそうとしたとき、ワイヤーをフォークリフトの爪に掛け、完了の合図をしないうちにフォークリフトの爪が上がったため、ワイヤーロープを持っていた右手中指がワイヤーとパイプに挟まれ負傷した。	69
----	------	--	----

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html